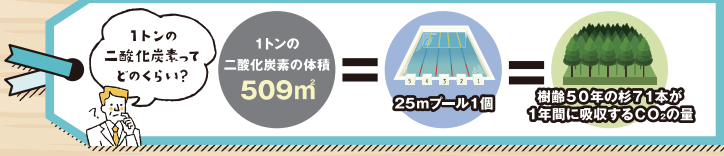
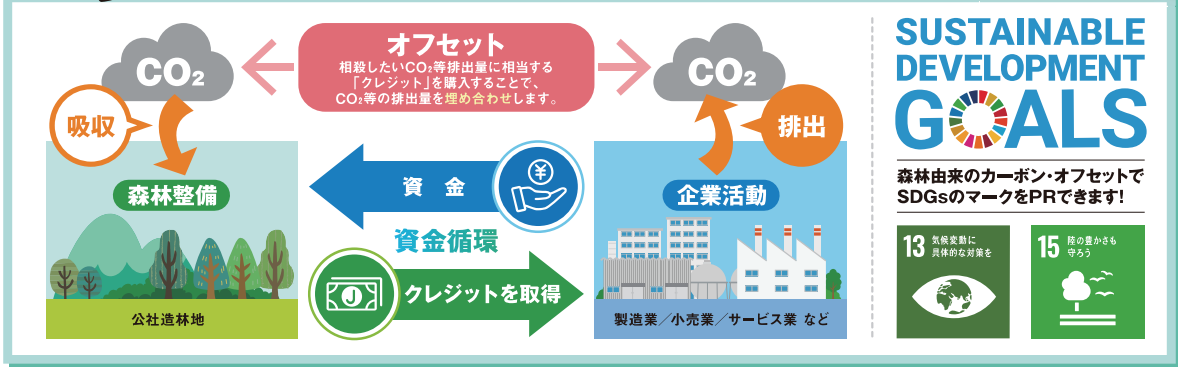


J-クレジット制度とは?

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。クレジットは、経団連カーボンニュートラル行動計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、様々な用途に活用でき、国全体の脱炭素の取り組みを活性化する効果があります。



森林クレジット取引の仕組み



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

森林由来のカーボン・オフセットでSDGsのマークをPRできます!

- 13 気候変動に具体的な対策を
- 15 陸の豊かさも守ろう

森林資源の適正な管理と循環

戦中戦後の乱伐で荒れた森林を復旧し、戦後復興や高度経済成長期の木材需要に応えるためにスギやヒノキなどが植林されました。これらの人工林は、長い育成期間を経て、国土の保全や地球環境の保全に大きく寄与し、日本の発展に貢献してきました。

公社が管理する人工林から生まれた森林由来のJ-クレジット(「森林クレジット」)は、企業や団体等にご購入いただき、その資金は間伐などの森林管理に使われています。現地の地勢や生育状況に応じた適正な森林施設が行われており、健全な森林資源の維持・増進が図られています。また、希少な生物が生息する森林の保全にも努めています。

現在、持続可能な開発目標(SDGs)に対する関心が高まっています。SDGsの17の目標の一つである「持続可能な森林の経営」(目標15)は、森林の多面的な機能がさまざまな目標達成に貢献することを示しています。また、「気候変動への対策」(目標13)も掲げられており、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」の実現に森林が貢献しています。



クレジットの活用方法

- 地域貢献**
事業所や工場等の所在地域や、その上流域にある県内の森林づくりを応援
- 岐阜県発注工事の工事成績評価において評価**
森林由来のカーボン・クレジットを5t-CO₂以上購入し、地域の森林づくりに貢献した場合、「社会性等(地域への貢献等)」において評価
- カーボンオフセット**
事業活動や、会議・イベント開催で排出される温室効果ガスをオフセット製造などの過程で排出される温室効果ガスをオフセットした製品やサービスの提供

その他については
J-クレジット制度HPをご確認ください。
<https://japancredit.go.jp/case/outline/>

